

EBPMの深化に向けて

RIETI プログラムディレクター (EBPMプログラム)
東京大学公共政策大学院・大学院経済学研究科 教授
川口 大司

エビデンスに基づく政策形成の重要性

- 生産年齢人口(15-64歳)が毎年70万のペースで減っていくという状況
 - 一人一人の労働者が高い能力を持つ社会を
 - 生産年齢人口の半分を占める女性が能力を発揮できる社会を
 - 高齢者が能力を発揮できる社会を
 - 企業の生産性向上に向けた政策を
- エビデンスに基づく政策形成を
 - エビデンスに基づかなければ、民主的なプロセスを経て現状変更に合意することは難しい
 - 現状はロジックモデルの作成にとどまっているケースが多い
 - 原因は人材不足とデータへのアクセスの悪さ

EBPMプログラムからの政策提言

- 女性の能力活用を進めるために…
 - 社会保険における扶養配偶者の扱いを見直すべき
- 高い学力形成を目指して…
 - 専門性（特にSTEM）の高い教員の採用・養成を進めるべき
- 企業の生産性向上を目指して…
 - 企業支援は補助金ではなく税控除で